昭和医科大学歯学部だより

2025年9・10月号 通算第236号

学生後援会秋期部会が開催されました

＜教育委員長　船津　敬弘＞

学生後援会秋期部会が10月18日に開催されました．歯学部部会では，馬場歯学部長から最先端の医療を実践する歯科病院にて行われる臨床実習，研修を通じて専門性の高い歯科医師を目指してほしいとの話しがされました．高見研究科長からは，在学中から研究に携わることのできるマルチドクタープログラムが紹介され，私からは2年後の鷺沼キャンパス開設と各学年の状況について説明をしました．野中学生部長からは災害時の安否確認システム導入に関する説明と各学年の主任，副主任の紹介がありました．また，指導担任，修学支援担当教員と保護者との個別面談も行われ，ご家庭におけるご不安やご質問にも対応いたしました．面談終了後は上條記念館において，全学部合同の懇親会が開催され，教員と保護者間での情報交換が盛んに行われました．これからも保護者の方々のご協力をいただきながら，学生たちが充実した大学生活を送ることのできるように，教員一同精進したいと存じます．

大学院秋季修了式が行われました

＜歯学研究科長　高見　正道＞

令和7年9月26日午後4時より，昭和大学上條ホールにおいて令和7年度大学院秋季修了式が挙行され，医学研究科13名，歯学研究科3名，薬学研究科4名に博士の学位が，保健医療学研究科9名に修士，2名に博士の学位が授与されました．多くの保護者や大学関係者が見守る中，上條学長より各研究科の学生代表に学位記が手渡されました．

上條学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し，歯学研究科長の私は「まず，これまでの研究でお世話になった人，例えば先生や保護者の方々に感謝しましょう．そして，これからの人生で必ず直面する困難を乗り越えながら，さらに立派な医療人，研究者そして教育者として成長されることを期待しています．」と述べました．

昭和大学宣言と校歌斉唱の後，各修了者に研究科長から学位記が手渡され，記念撮影をおこないました．この度博士となられた皆様，本当におめでとうございます．後輩の皆さんも先輩方に引き続き，頑張ってください．

P.1 【学生後援会秋期部会が開催されました】教育委員長　船津　敬弘 教授
【大学院秋季修了式が行われました】歯学研究科長　高見　正道 教授
P.2 【旗ケ岡祭が開催されました】歯学部学生部長　野中　直子 教授
【チュラロンコン大学ブリッジプログラムに参加しました】歯学部４年生　磯田　小巻 さん
P.3 【教育者のためのワークショップ　ビギナーズコースに参加しました】歯学教育学講座　林　美佑 先生
【教育者のためのワークショップ　アドバンストコースに参加しました】歯内治療学部門　鈴木　規元 教授
P.4 【歯科麻酔科学会　最優秀演題賞を受賞しました】歯科麻酔科学部門　松野　栄莉佳 先生
【受賞】【行事予定】広報委員長　柴田　陽 教授
【編集後記】歯科薬理学講座　唐川　亜希子

旗ケ岡祭が開催されました

＜歯学部学生部長　野中　直子＞

第65回旗ケ岡祭が10月11日（土），12日（日）に「暁光」というテーマで開催されました．旗の台キャンパスの中庭では多くの模擬店，4・5号館ではクラブによる展示，中庭のステージでは応援指導部，軽音楽部，ダンス部，MAS などが出演し，また第二延山小学校の有志の吹奏楽部の出演もあり，地域の皆様と交流をもつ機会となりました．上條講堂では，恒例の名人会や芸能イベントが開催され，会場は笑いが絶えず賑わっていました．主宰した実行委員の皆さんをはじめ，参加者の気持ちがひとつとなった学園祭は，学生生活の良い思い出になるでしょう．最後になりましたが，協賛いただいた企業様，地域商店の皆様，準備等ご協力いただいた学生課はじめ大学職員の方々にお礼申し上げます．また11日（土）15時からは，第18回ホームカミングデーが上條記念館で開催され，卒業後50年，25年，15年の皆様をご招待し，学部，世代を超え親睦を深めました．

チュラロンコン大学ブリッジプログラムに参加しました

＜歯学部4年生　磯田　小巻＞

7月にタイ・バンコクにある国立チュラロンコン大学で開催された，夏季ブリッジプログラムに参加しました．本プログラムは今年から開催され，日本からの本校生4名の他に，中国，韓国，アメリカ，インドネシア，フィリピン，現地タイなどの歯科学生総勢50名が参加しました．前半は歯学の座学とワックス彫刻などの実習に参加し，日本とは異なる器具や技法から新たな知識を得ることができました．後半はタイの伝統的なお菓子作りや寺院訪問などを行い，チュラロンコン大学はもちろん，中国や韓国，アメリカなどの学生と，各国のカリキュラムや将来の進路について情報交換を行いました．空き時間にはチュラロンコン大学の人体博物館や臨床現場を見学し，国ごとの医療の在り方の違いを実感しました．4日間という短い期間でしたが，異なる文化や教育を持つ学生と交流することで自分の視野を大きく広げることができました．今回の経験を活かし，日々の学びをさらに深め，将来海外でも通用する歯科医師を目指したいと感じました．

教育者のためのワークショップ　ビギナーズコースに参加しました

＜歯学教育学講座　林　美佑＞

８月１日～３日に「第１５回教育者のためのワークショップ　ビギナーズコース」が富士吉田キャンパスで開催され，歯学部からは菅森　泰隆先生（歯科理工学），山下　晃平先生（インプラント歯科学），大沼　慎太郎先生（口腔病理学），山口　菊江先生（インプラント歯科学），大澤　淡紅子先生（口腔機能管理学），大場　誠悟先生（顎顔面口腔外科学），小清水　有里子先生（歯科放射線医学），林　美佑（歯学教育学）の８名が参加しました．

本コースでは教育の基盤となるカリキュラムプランニングを学び，その後「どのような医療人を育てたいか」「どのような教育をすべきか」をテーマに，グループ討議と発表を行いました．普段の業務では立ち止まることの少ない“教育の根幹”について，多職種の先生方と意見を交わすことで新たな視点を得られ，本学ならではの学部連携教育やチーム医療についても活発な議論が行われました．教育者としての役割を改めて見つめ直す貴重な機会となり，今後の講義や実習、学生支援に活かせる多くの気づきを得られました．学内における教育力の向上に貢献できるよう，今後も学び続けてまいります．

教育者のためのワークショップ　アドバンストコースに参加しました

＜歯内治療学部門　鈴木　規元＞

８月１７～１８日，教育者のためのアドバンストワークショップに参加致しました．昨年同様，富士吉田キャンパスにて１泊２日で開催されましたが，さすがに日中は暑かったものの朝夕は涼しく，窓を開けて寝ていた明け方には寒く感じるほどでした．今年の歯学部のテーマは「歯学部新々カリキュラムの検討（３年次以降）」でした．再来年度の鷺沼キャンパスのオープンに合わせ，いよいよ来年度の新入生から新々カリキュラムが開始されます．基礎系科目を少しずつ低学年へ移行させることに伴い，中高学年でのCBT対策や臨床実習をより充実させることを主眼として，３年次以降の新しいカリキュラムについて具体的な討論を行うことができました．最後には歯学部の新たなキャッチフレーズを策定し，プロダクトを完成させました．夜はバーベキューに舌鼓を打ち，その後の懇親会では他学部の先生方との交流を深め，充実した２日間となりました．

参加者：高見教授（歯科薬理学）、桑田教授（口腔微生物学）、中村教授（口腔生理学）、中納教授（歯科矯正学）、小林教授（保存修復学）、田中（晋）准教授（歯科補綴学）、鈴木（歯内治療学）．

タスクフォース：馬場歯学部長、船津教育委員長、坂井歯学教育推進室長、野中教授、美島教授、林助教．

歯科麻酔科学会　最優秀演題賞を受賞しました

＜歯科麻酔科学部門　松野　栄莉佳＞

（左から2番目が受賞者）

このたび，10月11日に開催された第53回日本歯科麻酔学会総会・学術集会において，最優秀発表賞（ジーシー昭和薬品賞）を受賞いたしました．本賞は，本学術集会の一般演題のうち，基礎部門および臨床部門からそれぞれ2題が選出・表彰されるものです．

受賞対象となった発表は，Stem Cell Reports誌に掲載された研究「ヒトiPS細胞由来唾液腺細胞シートによる障害唾液腺の再生」です．本研究では細胞シート工学を応用し，iPS細胞由来の唾液腺細胞シートを損傷唾液腺に移植して，宿主の導管構造と連続的に統合させることに成功しました．この賞を励みに，今後も研究に一層精進してまいる所存です．

末筆ながら，本賞の受賞にあたり，日頃よりご指導をいただいております美島　健二教授（口腔病理学部門）ならびに田中　準一准教授（同）、および増田　陸雄教授（歯科麻酔科学部門）に，心より感謝申し上げます．

受　賞

＜広報委員長　　柴田　陽＞

歯科基礎医学会　ライオン学術賞，田中　準一（口腔病理学部門　准教授）

行事予定

＜広報委員長　　柴田　陽＞

11月15日（土）　創立記念日
11月16日（日）　推薦入試・編入学試験
11月21日（金）　イルミネーション点灯式

編集後記

＜歯科薬理学講座　唐川　亜希子＞

長い残暑が終わり，秋を飛び越して冬の気配が感じられる日々が続いております．季節の変わり目ですので，ご体調どうかご自愛ください．末筆ながら，お忙しい中ご寄稿くださいました先生方に，心より感謝申し上げます．

昭和医科大学　歯学部だより　通算236号　2025年10月発行
発行責任者：歯学部長　馬場　一美　編集責任者：広報委員会委員長　柴田　陽
9・10月号編集委員：唐川　亜希子（広報委員会）
〒142-8555　東京都品川区旗の台1-5-8　TEL：03-3784-8000
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp